

サイバー防犯に貢献 大学生23人に感謝状

県サイバーセキュリティ推進協議会は16日、大学生でつくるサイバー防犯ボランティア「KC3」のメンバーのうち、今春の卒業を機に引退する23人に感謝状を贈った。

協議会の堤豊会長が熊本市中央区の県警本部で贈呈し、「新型コロナウイルス禍で活動が制限された中でも積極的に活動してくれた」と謝意を伝えた。

県内のIT企業に入社する熊本学園大商学部の吉田海里さんは「遠い話だと思っていた援助交際や薬物乱用が身近にあると感じた。」

情報リテラシーやセキュリティに対する意識が高まった」と話した。

23人の内訳は熊本学園大14人、崇城大5人、東海大熊本キャンパス4人。感染防止のため、各大学の代表が感謝状を受け取った。

(伊藤恩希)



感謝状を受け取る「KC3」の吉田海里さん(左)

16日、県警本部